2024年度
中央大学
学術講演会

テーマ一覧
講 師 紹 介

目次 [テーマ一覧・テーマ概要・講師紹介]

法律

						テーマ概要	講師紹介
A-1	労働人権デューディリジェンス入門	法学部准教授	井川　志郎	【対面】		P.1	P.23
A-2	特殊詐欺と刑事法	法学部教授	只木　誠	【対面】	【オンライン】	P.1	P.24
A-3	医師によるALS患者殺人事件をめぐって	法学部教授	只木　誠	【対面】	【オンライン】	P.1	P.24
A-4	「犯罪」とはなにか、「刑罰」とは何か	法学部教授	只木　誠	【対面】	【オンライン】	P.1	P.24
A-5	医療過誤事例と刑法	法学部教授	只木　誠	【対面】	【オンライン】	P.2	P.24
A-6	特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法	法学部教授	只木　誠	【対面】	【オンライン】	P.2	P.24
A-7	日本国憲法から見る日本の政治	法学部教授	橋本　基弘	【対面】	【オンライン】	P.2	P.25
A-8	陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか	法学部教授	橋本　基弘	【対面】	【オンライン】	P.2	P.25
A-9	再エネ発電施設の立地をめぐる紛争と法:太陽光・風力発電を中心に	法学部教授	洞澤　秀雄	【対面】	【オンライン】	P.2	P.26
A-10	AIは法システムの破壊者か?	法務研究科教授	佐藤　信行	【対面】	【オンライン】	P.3	P.40
A-11	PTAと法	法務研究科教授	土田　伸也	【対面】		P.3	P.41
A-12	会社法からみたSDGs	法務研究科教授	野村　修也	【対面】		P.3	P.41
A-13	實地應用ノ素ヲ養フ	法務研究科教授	野村　修也	【対面】		P.3	P.41

経済

						テーマ概要	講師紹介
B-1	2030年、日本経済と労働市場はどうなる	経済学部教授	阿部　正浩	【対面】		P.4	P.27
B-2	高齢期の働き方、過ごし方	経済学部教授	阿部　正浩	【対面】		P.4	P.27
B-3	軍事費膨張は国民に何をもたらしたのか	経済学部教授	関野　満夫	【対面】		P.4	P.28
B-4	長期金利の上昇、円安が進む日本の金融構造	経済学部准教授	近廣　昌志	【対面】		P.4	P.28
B-5	30年間の金融緩和が効かない理由	経済学部准教授	近廣　昌志	【対面】		P.4	P.28
B-6	日本はデフレ経済ではなかった?	経済学部准教授	近廣　昌志	【対面】		P.5	P.28
B-7	グローバル化と地域経済の活性化	経済学部教授	鳥居　伸好	【対面】		P.5	P.29
B-8	ハイモビリティとローモビリティの対立	経済学部教授	山﨑　朗	【対面】	【オンライン】	P.5	P.29
B-9	プレミアムな地域創生	経済学部教授	山﨑　朗	【対面】	【オンライン】	P.5	P.29
B-10	日本の経済はどうなっているか?	総合政策学部教授	川崎　一泰	【対面】	【オンライン】	P.6	P.37
B-11	人生100年時代の社会保障を考える	総合政策学部教授	川崎　一泰	【対面】	【オンライン】	P.6	P.37

国際・グローバル化

						テーマ概要	講師紹介
C-1	パリ国際大学都市日本館館長の日々	法学部教授	西海　真樹	【対面】	【オンライン】	P.7	P.25
C-2	台湾とグローバル社会	経済学部教授	赤羽　淳	【対面】		P.7	P.27
C-3	途上国・中進国支援とインフラ輸出	理工学部教授	手計　太一	【対面】		P.7	P.32
C-4	中国の将来 日本の針路	国際経営学部教授	深町　英夫	【対面】	【オンライン】	P.7	P.38
C-5	中国政治体制100年	国際経営学部教授	深町　英夫	【対面】	【オンライン】	P.8	P.38
C-6	経済安全保障の現在	法務研究科教授	安念　潤司	【対面】	【オンライン】	P.8	P.40

ICT・科学・環境

						テーマ概要	講師紹介
D-1	生成AIとは何か	法学部教授	工藤　裕子	【対面】	【オンライン】	P.9	P.23
D-2	AI&ビッグ・データ時代のプライバシー	法学部教授	工藤　裕子	【対面】	【オンライン】	P.9	P.23
D-3	地球環境と二酸化炭素排出量の問題・関係	理工学部教授	大石　克嘉	【対面】		P.9	P.31
D-4	情報通信の発展を支える虚数	理工学部准教授	久保田　彰	【対面】	【オンライン】	P.9	P.31
D-5	はじめての機械学習	理工学部教授	田口　善弘	【対面】	【オンライン】	P.10	P.32
D-6	生命はデジタルでできている	理工学部教授	田口　善弘	【対面】	【オンライン】	P.10	P.32
D-7	AI(人工知能)の過去・現在・未来	理工学部教授	田口　善弘	【対面】	【オンライン】	P.10	P.32
D-8	流域治水	理工学部教授	手計　太一	【対面】		P.10	P.32
D-9	新しい生活様式で着目される「音」の効果について	理工学部教授	戸井　武司	【対面】	【オンライン】	P.11	P.33
D-10	聴覚の謎に迫る!	理工学部教授	戸井　武司	【対面】	【オンライン】	P.11	P.33
D-11	DXとデータサイエンス	理工学部教授	生田目　崇	【対面】		P.11	P.33
D-12	来るべきSociety 5.0な社会とは	国際情報学部教授	飯尾　淳	【対面】	【オンライン】	P.11	P.39
D-13	データビジュアライゼーションの世界	国際情報学部教授	飯尾　淳	【対面】	【オンライン】	P.12	P.39
D-14	人の行動を科学する方法	国際情報学部教授	飯尾　淳	【対面】	【オンライン】	P.12	P.39

地域・社会・政治

						テーマ概要	講師紹介
E-1	ポピュリズムはなぜ世界中で台頭するのか	法学部教授	工藤　裕子	【対面】	【オンライン】	P.13	P.23
E-2	オリンピックとは何か	法学部教授	工藤　裕子	【対面】	【オンライン】	P.13	P.23
E-3	ポスト・コロナの観光のあり方とは	法学部教授	工藤　裕子	【対面】	【オンライン】	P.13	P.23
E-4	高度国防国家の構想	経済学部教授	山﨑　朗	【対面】	【オンライン】	P.13	P.29
E-5	水循環基本法と水資源を活用した地域活性	理工学部教授	山村　寛	【対面】		P.14	P.34
E-6	超高齢社会・人口減少社会における社会設計のあり方	文学部教授	天田　城介	【対面】	【オンライン】	P.14	P.35
E-7	現代日本社会における高齢者介護の変容	文学部教授	天田　城介	【対面】	【オンライン】	P.14	P.35
E-8	ケアの現場で働くということ	文学部教授	天田　城介	【対面】	【オンライン】	P.14	P.35
E-9	ポスト経済成長時代における超高齢社会・人口減少社会における「貧困」の現実	文学部教授	天田　城介	【対面】	【オンライン】	P.15	P.35
E-10	超高齢化・人口減少社会における地方の現実	文学部教授	天田　城介	【対面】	【オンライン】	P.15	P.35
E-11	アフターコロナの地域創生	総合政策学部教授	川崎　一泰	【対面】	【オンライン】	P.15	P.37
E-12	スポーツで挑む社会貢献	総合政策学部教授	小林　勉	【対面】		P.15	P.37
E-13	SNSを科学に分析する方法	国際情報学部教授	飯尾　淳	【対面】	【オンライン】	P.16	P.39

人文・文化

						テーマ概要	講師紹介
F-1	遺跡発掘でさぐる縄文の暮らし	文学部教授	小林　謙一	【対面】	【オンライン】	P.17	P.35
F-2	考古学からみた邪馬台国論争	文学部教授	小林　謙一	【対面】	【オンライン】	P.17	P.35
F-3	災害の考古学	文学部教授	小林　謙一	【対面】	【オンライン】	P.17	P.35
F-4	先史・古代の日韓関係	文学部教授	小林　謙一	【対面】	【オンライン】	P.17	P.35
F-5	ヨーロッパ絶対王政と戦争	文学部教授	鈴木　直志	【対面】		P.18	P.36
F-6	文化遺産と博物館	文学部教授	西川　広平	【対面】	【オンライン】	P.18	P.36
F-7	記録された災害史	文学部教授	西川　広平	【対面】	【オンライン】	P.18	P.36
F-8	水資源の歴史学	文学部教授	西川　広平	【対面】	【オンライン】	P.18	P.36

教育・心理・哲学					テーマ概要	講師紹介
G-1	眠りの力を引き出す	法学部教授	宮崎　伸一	【対面】	P.19	P.26
G-2	異文化交流の世界	国際情報学部教授	飯尾　淳	【対面】【オンライン】	P.19	P.39

ビジネス					テーマ概要	講師紹介
H-1	EV(電動車)普及が社会に与えるインパクト	経済学部教授	赤羽　淳	【対面】	P.20	P.27
H-2	アフターコロナにおける日本企業の人事戦略	経済学部教授	赤羽　淳	【対面】	P.20	P.27
H-3	個人の強さと組織の弱さ	商学部教授	三浦　俊彦	【対面】【オンライン】	P.20	P.30
H-4	日本マンガ・アニメの強さの秘密	商学部教授	三浦　俊彦	【対面】【オンライン】	P.20	P.30
H-5	日本の消費者はなぜ品質に厳しいのか	商学部教授	三浦　俊彦	【対面】【オンライン】	P.21	P.30
H-6	クールジャパンの起源に迫る	商学部教授	三浦　俊彦	【対面】【オンライン】	P.21	P.30

その他					テーマ概要	講師紹介
I-1	田代菊之助-中央大学オリンピアン第1号-	商学部教授	市場　俊之	【対面】	P.22	P.30
I-2	義足ジムナスト(体操競技選手)ジョージ・アイザー	商学部教授	市場　俊之	【対面】	P.22	P.30
I-3	特攻と中央大学	国際情報学部教授	松野　良一	【対面】	P.22	P.39

【法律】

A-1	**井川　志郎**	**イカワ　シロウ**	法学部准教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】**		

労働人権デューディリジェンス入門

ー組織と国境を越えた人権保護の意義と課題ー

[講演概要]

「ビジネスと人権」、とくに「人権デューディリジェンス」というキーワードについては、労働法学の領域でも関心は高まっています。かかるキーワードのもとで企業に何が求められているのかについては、政府によるガイドライン策定もあいまって、それなりに理解が進んでいるのではないかと期待されるところです。 しかし、そもそも何故、そうした取組が企業に求められるのでしょうか。また、企業にそうした取組みを求める現在の政策に、何か課題はないのでしょうか。本講演では、労働法学者の見地から、「人権デューディリジェンス」という流行りのテーマの根本と展望を考察します。

A-2	**只木　誠**	**タダキ　マコト**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

特殊詐欺と刑事法

ー特殊詐欺に対応する刑事法・裁判所の動きー

[講演概要]

近年、特殊詐欺の発生が後を絶たないなか、詐欺罪、窃盗罪について早い時点で未遂の成立を認め、また、共犯を広く認めるという、従来の判例理論にかわる新たな判断が最高裁判所で示された。これを受けて、受け子・出し子といった末端の行為者のみならず犯罪組織の上位者にまで捜査・逮捕の手を伸ばすことが可能となり、被害金の回収の試みもより実効性あるものとなっている。このような現況の刑事法の働きかけについて検討する。

A-3	**只木　誠**	**タダキ　マコト**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

医師によるALS患者殺人事件をめぐって

ー安楽死・尊厳死の問題を考えながら ー

[講演概要]

先年、2人の医師が、本人の依頼のもと薬物を投与して難病ALS患者を殺害したとして逮捕された事件は世間に大きな衝撃を与えた。医学・科学の進歩に伴い、終末期医療の場面で生じている少なからぬ葛藤や相克に喫緊の法的対応が求められている現在、安楽死・尊厳死などにどのように向き合っていくべきか。日本からの新規加入者も指摘されるヨーロッパの安楽死団体の問題にも触れながら、現代における「死」の問題を考える。

A-4	**只木　誠**	**タダキ　マコト**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

「犯罪」とはなにか、「刑罰」とは何か

ー少年法も取り上げながらー

[講演概要]

刑法が誕生して100年余が経過し、裁判が市民の手に委ねられる現在、刑法もまた市民生活において理解容易なものでなければならない。犯罪とは何か、犯罪はいかなる要件をもって成立するのか、刑罰とは何か、少年法とは何か等、日常生活における法との関わりを分かり易く解説する。

A-5	只木　誠	タダキ　マコト	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

医療過誤事例と刑法

[講演概要]

近時、医学医療技術が飛躍的に進歩するなか、同時にまた、医療の現場においては、医療従事者による過失事故すなわち医療過誤の案件も多く報告され、なかには大きな社会問題となった事例も存している。この医療過誤事故の問題について、刑法的にはどのような対応がなされているのか、また、今後なされていくべきであるのかを考える。

A-6	只木　誠	タダキ　マコト	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法

ー生命と法について考えるー

[講演概要]

傷病者が多数同時的に発生した場合に、傷病の程度や緊急性に応じて医療措置の優先順位を決するトリアージの行為は、大規模災害において、また、コロナ感染症の流行のもと一般にも知られるようになったが、そもそも、トリアージは「生命の比較衡量の禁止」という原則に反しないのか。優先度が低いとされた傷病者について医師の義務違反は発生しないのか。トリアージが許される法的根拠の問題等について法的な立場から検討する。

A-7	橋本　基弘	ハシモト　モトヒロ	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

日本国憲法から見る日本の政治

ー憲法の視点から、現在の日本の政治が抱える問題を考えるー

[講演概要]

日本に生まれ育ったなら、ある程度憲法については知っているはずです。しかし、実際には、憲法を読んだことがない、読んだことがあってもよく知らないという人が多いのが現実です。この講義では、今の日本の政治を題材にして、憲法もう一度勉強してみよう、あるいはきちんと読んでみようと思う人を対象としています。

A-8	橋本　基弘	ハシモト　モトヒロ	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか

ー陰謀論の時代と表現の自由ー

[講演概要]

インターネットの普及とともに、虚偽の表現があたかも真実のように広められる時代になりました。しかし、これは表現の自由として保障される活動なのでしょうか。陰謀論・フェイクニュースに対して法規制はできないのでしょうか。この講演では、このような難しい問題を考えてみようと思います。

A-9	洞澤　秀雄	ホラサワ　ヒデオ	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

再エネ発電施設の立地をめぐる紛争と法:太陽光・風力発電を中心に

[講演概要]

太陽光、風力などの再エネの発電施設について各地で開発が進む一方、一部の地域では再エネ開発が地域紛争にも至っている。大規模な太陽光発電施設が山を切り開いたり、風力発電の風車が景観を害したりといった理由で、地域住民の反対が見受けられる。そしてこうした再エネ施設の立地を規制する自治体の条例も増えつつある。

こうした状況について、風力発電施設をめぐる多くの紛争を経たイギリス法を参照して、環境法・行政法の観点から考察していく。

A-10	佐藤　信行	サトウ　ノブユキ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

AIは法システムの破壊者か?

ー法システムはチューリング・テストをこえられるかー

[講演概要]

私たちが用いている法システムは、意思をもつ人の存在を前提として、意思に基づく行為に権利や義務を結びつけるという仕組みを採用しています。ところが、AIとりわけ生成AIは、「人の行動に見える振る舞い」(「チューリング・テスト」を通過する振る舞い)をすることから、私たちの社会に多くの影響を与えており、法システム全体を破壊するのではないかという疑問すら生じています。

この講演では、皆さんとご一緒に、この問題を考えてみたいと思います。

A-11	土田　伸也	ツチダ　シンヤ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

PTAと法

ーPTAってやらないといけないですか?ー

[講演概要]

現在、PTAをめぐって様々な問題が指摘されているが、本講演では、第一にPTAの強制加入の問題、第二にPTA非加入世帯の児童生徒の排除の問題、第三にPTAによる学校への寄付の問題を取り上げ、それぞれ関係する法的規律や、裁判例なども確認しながら、法的観点からPTAをめぐる諸問題にアプローチする。

A-12	野村　修也	ノムラ　シュウヤ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

会社法からみたSDGs

ー株主利益最大化モデルのゆくえー

[講演概要]

最近では多くの企業が、経営計画の中でSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを掲げています。こうした動きは、企業が目指すべき企業価値の向上とどのように結び付いているのでしょうか。会社法は、しばらくの間、アメリカ法の影響を受けて会社は株主のものであり、株主利益の最大化こそが目指すべき課題だと考えてきました。今後このモデルはどのように変わっていくのか、具体例を挙げながら、皆さんと考えます。

A-13	野村　修也	ノムラ　シュウヤ	法務研究科教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

實地應用ノ素ヲ養フ

ー法典編纂と英吉利法律学校ー

[講演概要]

中央大学の前身である英吉利法律学校ができた頃、明治政府は、江戸末期に締結した不平等条約の解消を目指して様々な努力を重ねていました。そうした中、突破口となったのが法典編纂によって「法の支配」を示すことでした。この動きが、英吉利法律学校の開校を運命づけたわけですが、「實地應用ノ素ヲ養フ」という建学の精神もこの成り立ちに深く関わっています。この講演では、皆様と改めて中央大学のルーツについて考えてみたいと思います。

【経済】

B-1	阿部　正浩	アベ　マサヒロ	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

2030年、日本経済と労働市場はどうなる

[講演概要]

労働人口の減少により人材不足、人材の高年齢化が深刻化し、生産性の低下や経済の停滞が予測されるいわゆる「2025年問題」「2030年問題」への対策が急務となっています。2025年には「団塊世代」が75歳以上を迎え、2030年には人口の3分の1が65歳以上の高齢者になることから、労働人口の減少は避けて通ることができません。パーソル総合研究所との共同研究をもとに2030年の労働市場の状況を考えます。

B-2	阿部　正浩	アベ　マサヒロ	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

高齢期の働き方、過ごし方

[講演概要]

2025年には高度経済成長を支えてきた「団塊世代」が75歳以上を迎え、また2030年には人口のおおよそ3分の1が65歳以上の高齢者になります。こうしたなかで日本経済の人手不足を解消するため、政府は高齢者の労働参加を促す基盤整備を行ってきました。高齢者が活躍する社会とはどういう社会なのか、どのような人が高齢期に活躍するのか、考えてみたいと思います。

B-3	関野　満夫	セキノ　ミツオ	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

軍事費膨張は国民に何をもたらしたのか

ー日本の戦争財政(1937~45年)の経験からー

[講演概要]

近年、日本の防衛費拡充と財源問題が重要な政治課題の一つになっている。その際、日中戦争から太平洋戦争にいたる過程での軍事費膨張と増税・国債発行による戦費調達が、戦中・戦後を通じて国民に甚大な負担をもたらし、国民生活を崩壊させていった歴史的事実を正確に認識しておく必要があろう。この講演では、日本の戦争財政とその後始末について、国民負担に注目して具体的に説明する。

B-4	近廣　昌志	チカヒロ　マサシ	経済学部准教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

長期金利の上昇、円安が進む日本の金融構造

ー低金利と円安が日本に良いはただの「神話」であるー

[講演概要]

低金利は良いことだと吹き込まれてきた日本経済は、むしろ低金利によって苦しんでいます。ドル円レートが強くなる(円安)一方で、我々が余分に支払ったガソリン代や電気代は国内の企業収益拡大を後押ししているだけです。こうした金融の理論を紹介し、「常識」として考えられている経済話の間違いに気づく力をつけましょう。

B-5	近廣　昌志	チカヒロ　マサシ	経済学部准教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

30年間の金融緩和が効かない理由

ー本当の貨幣の供給理論を学ぶー

[講演概要]

1990年以降の金融緩和政策が効果を発揮していない理由を理論的に学ぶ講演内容です。中央銀行がコントロールできることを正しく詳細に学ぶことは、世論の形成にも役立ちものです。イメージや「常識」に惑わされないために、是非学んでみましょう。

B-6	近廣　昌志	チカヒロ　マサシ	経済学部准教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

日本はデフレ経済ではなかった?
ー貨幣価値の正しい捉え方ー

[講演概要]
日本はここ30年間「デフレ経済」と言われてきたため、無意識のうちに日本は「デフレ経済」に陥っていると思う人が増えてしまいました。しかし、貨幣価値の捉え方を正しく勉強すると、例え物価が対前年比1%下落したとしてもそれはデフレではないことに気付きます。物価上昇が気になる昨今だからこそ、このテーマで貨幣経済の理論を学んでみませんか?

B-7	鳥居　伸好	トリイ　ノブヨシ	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】	

グローバル化と地域経済の活性化
ー国際比較を踏まえた地域通貨事業の展望 ー

[講演概要]
現代資本主義のグローバル化に伴い実体経済と金融経済は乖離し、経済格差、地域経済の低迷等の問題が顕在化し、コロナ禍や気候変動等の問題と相まって、現代社会の諸問題が深刻化しています。このような状況にあって求められるのは、足場を固めて日常の生活を安定化させることですので、地域経済の活性化は重要課題となります。いま問われているのは、地域における生産、分配、消費を根幹とし、地域の社会的富を、ムリ、ムダなく最大限活用して維持・再生産する仕組みです。安定した地域経済基盤を形成するための「地域循環型システム」と地域循環を促す役割を担う地域通貨事業が近年再び注目されてきており、長年の地域経済(ドイツ、ポーランド、マレーシア、韓国など)の調査を踏まえて、グローバル資本主義における地域経済とその活性化手段としての地域通貨の役割について報告します。

B-8	山﨑　朗	ヤマサキ　アキラ	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

ハイモビリティとローモビリティの対立

[講演概要]
高速道路、新幹線、空港、高速通信など、人もの情報の空間移動の速度は高速化を続けてきた。新しい産業の創出やライフスタイルの変化も、これらのハイモビリティ技術やそれを支える社会資本整備によって、支えられてきた。しかし、高齢化、単身世帯化、デジタル化、サービス化、人口減少は、公共交通の衰退、高齢者の免許返納・徒歩可能距離の短縮化、アクセス距離の増加といった、「ローモビリティ化」をもたらしている。

B-9	山﨑　朗	ヤマサキ　アキラ	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

プレミアムな地域創生
ーB級からS級への転換ー

[講演概要]
B級グルメ、民泊、ゆるきゃら、イベントではなく、地域の豊かさを基盤としたプレミアム、ラグジュアリな地域創生が、これからの地域の未来戦略となる。無用・無料・不要とされてきた地域資源の活用によるプレミアムな地域創生についてお話します。参考図書は、山﨑朗・鍋山徹編著『地域創生のプレミアム戦略』中央経済社、2018年。

B-10	川崎　一泰	カワサキ　カズヤス	総合政策学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	：	【対面】【オンライン】	

日本の経済はどうなっているか?

ー情報のアップデートをしながら、今の日本の問題を考えるー

[講演概要]

日本は「人件費(賃金)が高い」、「物価が高い」、「貿易立国」、「技術立国」、など高度経済成長期からバブル期までの日本で言われていたことが未だにアップデートされないままの人が多い。この誤った認識の挙句の果てに「日本はもう成長をしない」という標語で語られ、誤った経済政策につながっていく。最新のデータで認識をアップデートしながら、日本の経済について考える。

B-11	川崎　一泰	カワサキ　カズヤス	総合政策学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	：	【対面】【オンライン】	

人生100年時代の社会保障を考える

[講演概要]

人生100年時代と言われるように、寿命が延びる中、かつての高齢者のイメージとは異なるアクティブなシニア世代が増えている。こうした中、社会保障の考え方も昭和時代のものから変化が求められるようになり、改革が進められている。ここでは社会保障の仕組みを簡単に解説しつつ、変化の方向性を考え、ライフプランの材料となるような話題を提供する。

【国際・グローバル化】

C-1	**西海　真樹**	**ニシウミ　マキ**	法学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

パリ国際大学都市日本館館長の日々

[講演概要]

私は、2021年4月から2023年3月までの2年間、パリ国際大学都市日本館の館長を務めた。パリ国際大学都市とは何か? そこにある日本館とは何か? その館長はどんな仕事をしているのか? これらについて、館長としての2年間の経験をふまえながら、ざっくばらんに語りたい。また、日本館設立のために多大な貢献をした薩摩治郎八と、彼の友人でその大作2点が日本館に納められている藤田嗣治に焦点を当てつつ、日本館の歴史も紹介したい。

C-2	**赤羽　淳**	**アカバネ　ジュン**	経済学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：	**【対面】**		

台湾とグローバル社会

ー日本にとって大切な隣人台湾を理解するー

[講演概要]

講演では台湾の特性を社会、経済、政治の多角的な観点から解説します。台湾は日本から距離も近く、お互いに多くの観光客が往来していますが、台湾の特性を正確に理解している日本人は意外に少ないように思えます。講演では、台湾の歴史を振り返り、その特性を社会、経済、政治の各側面から説明するとともに、日本にとって台湾がいかに大切な存在であるかを解説したいと思います。

C-3	**手計　太一**	**テバカリ　タイチ**	理工学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：	**【対面】**		

途上国・中進国支援とインフラ輸出

ー日本国・日本人ができる国際支援ー

[講演概要]

2014年に60周年に迎えた日本のODA(政府開発援助)は、1954年にコロンボ・プランに参加したことから始まりました。2022年時点における日本のODA実績は、174億7,533万ドル(OECD開発援助委員会(DAC)メンバー中第3位)です。本講演では、このように援助を続けているものの、まだまだ自立できない国々が多い問題についてお話するとともに、私の経験から日本国・日本人ならではの支援の方策について話題を提供させていただきます。

C-4	**深町　英夫**	**フカマチ　ヒデオ**	国際経営学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

中国の将来 日本の針路

ー150年の歴史から考えるー

[講演概要]

約半世紀におよぶ中国の飛躍的な発展は、昨今の「一帯一路」「海洋強国」といったスローガンに見られるように、国際秩序の再編を促しつつあります。これは歴史的な中華帝国の再興と見なされることもありますが、千数百年にわたり隣国であった日本にとっては、きわめて重要な意味を持つ趨勢です。相互に強く影響しあってきた約150年におよぶ近現代史を踏まえて、両国の今後について巨視的に考えます。

C-5	**深町　英夫**	**フカマチ　ヒデオ**	国際経営学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

中国政治体制100年

ーなぜ共産党の統治は強靭なのかー

[講演概要]

近年、西側諸国では自由民主主義の危機が叫ばれる一方、中国ではコロナ禍や経済減速を経ても、共産党の統治が動揺することなく強靭さを示しています。その理由を、中国人が近代的な政治体制を模索してきた、1世紀あまりにおよぶ歴史的経緯から探ります。

C-6	**安念　潤司**	**アンネン　ジュンジ**	法務研究科教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

経済安全保障の現在

ー半導体を中心にー

[講演概要]

米中新冷戦と呼ばれる国際関係を背景として、ここ数年、日本でも経済安全保障に対する関心が急速に高まり、法制度の整備が続いている。講演では、半導体を中心に、サプライチェーンの強靭化や対中貿易管理の動向を、米中両国のそれにも注意しつつ解説する。

【ICT・科学・環境】

D-1	**工藤　裕子**	**クドウ　ヒロコ**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

生成AIとは何か
ー生成AIで何が変わる？　生成AIは何を変える？ー
[講演概要]
ChatGPTなどの「生成AI」が話題になって久しい。使われた向きも少なくないのではないだろうか。しかし、生成AIが従来のAIとどのように異なるのか、生成AIによって何が変わり、何を変えることが出来るのか、などについては意外と知られていないことも多い。生成AIはもちろん万能ではなく、出来ないことや苦手なこともある。そもそも生成AIとは何か、生成AIによって可能となる技術やサービスにはどのようなものがあるか、一方、課題や危険性はないのか、などについて考える。

D-2	**工藤　裕子**	**クドウ　ヒロコ**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

AI&ビッグ・データ時代のプライバシー
ープラットフォーマーと個人情報保護ー
[講演概要]
GAFAなどのプラットフォーマーが提供するサービスを使わない日はないという向きも多いであろうが、その際、自らの個人情報やプライバシーをどれだけ意識しているだろうか。デジタル化の進展、特にAIやビッグ・データの急激な発展は、個人のライフスタイルのみならず、経済や産業のあり方をも変えつつある。このような時代のデジタル・リテラシーは、パソコンやスマホの操作だけではなく、個人情報やプライバシーの保護の必要性や方法を理解することも含まれる。

D-3	**大石　克嘉**	**オオイシ　カツヨシ**	理工学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】**		

地球環境と二酸化炭素排出量の問題・関係
ーこの問題を考える前に、私たちが知っておくべき事ー
[講演概要]
近年、環境問題と二酸化炭素排出量の問題・関係が話題にあがりますが、実は、本問題を考える前に、私達が知っておくべき事実や考え方があります。
本講演では、まず、私達の生活に不可欠な交流電気について勉強した後、環境問題と二酸化炭素排出量間の問題・関係について述べられます。

D-4	**久保田　彰**	**クボタ　アキラ**	理工学部准教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

情報通信の発展を支える虚数
ー虚数はどのように役に立っているのか？ー
[講演概要]
虚数に代表される「想像した数」は役に立つのだろうか。高校で習って以来、使う人はほとんどいないだろう。実は、「想像した数」がなければ、今日の情報通信技術の発展は無かっただろうといっても過言ではない。情報通信においては、研究開発に欠かせない「実用的な数」である。「想像した数」がどのように役に立っているのか、ディジタル情報を加工する技術および情報を正確に伝達する技術を例に高校数学の範囲で容易に解説する。

D-5	田口　善弘	タグチ　ヨシヒロ	理工学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

はじめての機械学習

ー中学数学で分かるAIのエッセンスー

[講演概要]

2021年7月に表記の様なタイトルの本をブルーバックスから出版したのでそれについて講演を行う。「飛躍的な進歩を遂げている機械学習を、難解な数式・プログラミングなしで解説する画期的入門書! 中学数学の知識だけでAIのエッセンスがわかる。

近年、著しい進歩を続ける機械学習。今後のビジネスや研究を続けていくうえでもはや無視できない存在になりつつある「機械学習」だが、言葉ばかりが先走りして、その本質を理解している人はごくわずかだ。「機械学習」とはいかなるものか、なぜ、近年飛躍的な進歩を遂げることができたのか。

D-6	田口　善弘	タグチ　ヨシヒロ	理工学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

生命はデジタルでできている

ー情報から見た新しい生命像ー

[講演概要]

2020年5月に表記のようなタイトルの本をブルーバックスから出版したのでそれについて講演を行う。「いま、生物学の分野で静かな革命が進行しつつある」、と言ったら読者の皆さんは驚くだろうか? その生物学の分野とは、ゲノム科学である。なんだがすごいことがこの分野で起きているっぽい。だが、なぜ、『突然』こんなことになっているのか? その疑問に答えてくれる報道は少ない気がする。本書の目的はそれを少しでもわかりやすく説明することにある。

D-7	田口　善弘	タグチ　ヨシヒロ	理工学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

AI(人工知能)の過去・現在・未来

ーAIは人間を超えるのかー

[講演概要]

いわゆるAIが世間を席巻している。AIはプロ棋士に勝利し、白黒写真に色をつけ、自動運転さえ可能にする。将来、人類の職業の多くがAIに奪われるという予測もある。この様な情報が氾濫する一方でAIが実際にどのような原理で動いており、何ができて何ができないかの情報は乏しい。いわゆるAIと呼ばれているものの実態を解き明かし、AIに何ができて何ができないかの判断を個々人ができるように解説することを目指す。

D-8	手計　太一	テバカリ　タイチ	理工学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】	

流域治水

ー治水政策の大転換ー

[講演概要]

近年連続して発生する大規模水害を受けて、2020年、国土交通省は治水政策を大きく転換させました。今後の気候変動による気象災害の激甚化を熟考し、地域・流域における全ての関係者が協働し、総合的・多層的な水災害対策を推進することとなりました。特に、都市・地域計画や地域社会の在り方と治水政策が相互に作用しあうことが必要になっています。この新しい治水政策の考え方と実践取り組みをご紹介するとともに、皆さんの地域における課題や優良事例をお話させていただきます。

D-9	**戸井　武司**	**トイ　タケシ**	理工学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　　：　　【対面】【オンライン】			

新しい生活様式で着目される「音」の効果について

[講演概要]

生活に身近な「音」は、機械などの不快な“騒音”と、音楽など人を快適にする“快音”がある。新しい生活様式で着目される機会が増えた「音」について、発生メカニズムから快適な「音」に変える快音化技術まで、最新の具体的な研究事例を交えてわかりやすく講演する。また、生活空間、オフィス空間や医療環境を快適にする取り組みや、「音」で付加価値をつけ家電製品や自動車の商品性を高める質感の高いものづくりについても紹介する。

D-10	**戸井　武司**	**トイ　タケシ**	理工学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　　：　　【対面】【オンライン】			

聴覚の謎に迫る!

― 年齢により聞こえ方は異なる ―

[講演概要]

子供の聞こえ方は大人と何が異なるか、高齢になると聞こえ方がどのように変化するかなど生活に身近な聴力についてわかりやすく解説する。また、聴力の変化に対応して、生活空間における音環境を変えることで、生活を豊かにする「音」の魅力についても紹介する 。

D-11	**生田目　崇**	**ナマタメ　タカシ**	理工学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　　：　　【対面】			

DXとデータサイエンス

[講演概要]

DX(デジタル・トランスフォーメーション) という言葉をよく耳にするようになりました。

DXの概念は20年前に提唱されましたが、インターネット、スマートフォン、クラウドなどの情報基盤がととのったことと、データから有用な情報を抽出するデータサイエンスがあらゆる分野で重要視されるようになったという2つ面が、ちょうどこの時代に融合したことが理由と考えられます。本講義ではDXで期待される社会変革とデータサイエンスの関係についてお話します。

D-12	**飯尾　淳**	**イイオ　ジュン**	国際情報学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　　：　　【対面】【オンライン】			

来るべきSociety 5.0な社会とは

―サイバーフィジカル技術を理解する―

[講演概要]

狩猟社会から農耕社会、工業社会を経て現在は情報社会、さらには高度情報社会に至りました。政府はこれからの社会を超スマート社会(Society 5.0)と定義し、新たな社会、ITの高度な利活用を前提とした社会の実現を目指しています。本講演では、Society 5.0とはどのような社会なのか、それをささえるサイバーフィジカルシステムとはどのようなものなのかを説明します。

D-13	飯尾　淳	イイオ　ジュン	国際情報学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　　：	【対面】【オンライン】		

データビジュアライゼーションの世界
―データを可視化し新たな知見を得る方法―

[講演概要]
AIやデータサイエンスが注目を浴びて久しい昨今、データサイエンティストは世界でもっとも魅力的な職業とも言われています。ただし、実世界から得られるデータはさまざまで、その取扱いは一筋縄ではいかないこともまた事実。一説には、前処理が8割以上も占めているとも言われます。データサイエンスは実は泥臭い作業を伴うものなのです。本講演では、データを上手に可視化(ビジュアライズ)して説得力の高い情報提示をする方法を、具体的な事例を交えてご紹介します。

D-14	飯尾　淳	イイオ　ジュン	国際情報学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　　：	【対面】【オンライン】		

人の行動を科学する方法
―ゲームを用いた行動情報分析―

[講演概要]
ゲーミフィケーションという概念があります。難しいことを楽しく作業できたり、学べたりできるように、ゲームのエッセンスを取り入れて工夫することです。私たちの研究室では、人間の行動を分析するためにゲーミフィケーションを取り入れたシステムを開発し、様々な実験を行っています。本講演では、具体例を交えながら、それらの実験について紹介し、行動情報分析の面白さや実験実施上の留意点などについてお伝えし、その楽しさをご紹介します。

【地域・社会・政治】

E-1	**工藤　裕子**	**クドウ　ヒロコ**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

ポピュリズムはなぜ世界中で台頭するのか

ー2024年に実施される世界の選挙から考える実態と課題ー

[講演概要]

アメリカのみならず、欧州、南米、アジアなど、世界中でポピュリズムの勢いが止まらない。そもそもポピュリズムとは何か。なぜポピュリズムは台頭するのか。過去に例を見ない世界規模の「選挙イヤー」となる2024年の各国や各地域の選挙分析を踏まえ、世界のポピュリズム政治家、政権の実態と課題を明らかにする。

E-2	**工藤　裕子**	**クドウ　ヒロコ**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

オリンピックとは何か

ーパリ五輪の開催年に考えるメガ・スポーツ・イベントの意義ー

[講演概要]

サッカーのワールド・カップ、オリンピックなどのメガ・スポーツ・イベントは、アスリートのみならず開催都市や国家の象徴であり、インフラ整備などを含め地元への経済効果も期待される。このため、世界中の都市や国家はこれらのイベントを誘致しようと躍起となってきた。しかし最近では、オリンピック立候補都市の減少、撤退も見られる。パリ五輪開催年の今年、東京五輪を振り返りつつ、これからのメガ・スポーツ・イベントの意義を検討する。

E-3	**工藤　裕子**	**クドウ　ヒロコ**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

ポスト・コロナの観光のあり方とは

ー持続可能な農泊は、旅行の価値観や農村・農業を変えるかー

[講演概要]

日本は今、インバウンド観光に沸いているが、政府が平成29年度から、農林水産省の農山漁村振興交付金による農泊推進支援を始めたことはあまり知られていない。そこで、80年代に農泊「アグリトゥリズモ」を導入し、ホスピタリティの新しい形として社会的・経済的に確立させたのみならず、自然と共生する持続可能なライフスタイルの提案を通じ、地域および訪れる人々の価値観や選択にも大きな影響を与えてきたイタリアの分析から、日本における農泊の可能性を考える。

E-4	**山﨑　朗**	**ヤマサキ　アキラ**	経済学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

高度国防国家の構想

[講演概要]

国土計画は、ドイツにおいて高度国防国家のための国の形の検討から開始された。戦後日本においては、地政学や高度国防国家について論じることは意識的に避けられてきたが、国際情勢が不安定化を増すなかで、地政学に関する著作も急激に増加している。高度国防国家は、特定都市への過度集中の排除と都市間の高速交通ネットワークの形成を基盤としており、平和時における国土構造の形成と共通点を有している。

E-5	山村　寛	ヤマムラ　ヒロシ	理工学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】	

水循環基本法と水資源を活用した地域活性

[講演概要]

2015年に水循環基本法が制定され、多方面にわたる水行政を統括する組織が設置された。特に、地下水はこれまで土地所有権に付随するものとして定義されていたが、基本法の制定により、公共性の高いものとして改めて認識されるに至っている。前半部分では、基本法の制定までの経緯と課題について共有したい。

水循環基本法では、水の利用と保全をうまくバランスすることで、経済を発展させつつ、環境を保全することを推奨している。本講演の後半では、水循環基本法をうまく活用した経済活性モデルについて紹介する。

E-6	天田　城介	アマダ　ジョウスケ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

超高齢社会・人口減少社会における社会設計のあり方

ーポスト経済成長時代における支え合いと分配の再構築ー

[講演概要]

ポスト経済成長時代/低成長時代にあって超高齢化・人口減少化が進行する私たちの社会においては社会のあり方それ自体が根本的に問い直されてきている。特に、団塊世代をはじめとするベビーブーム世代の高齢化・長寿化が起こると同時に、少子化時代の若者たちの生活・雇用が不安定化するなかで、私たちは「人口増加」と「経済成長」を前提にした分配や支え合いのあり方を劇的に変容することが強く求められている。今日、私たちはいかにして新たな社会設計をデザインすることができるのかを具体的に検討する。

E-7	天田　城介	アマダ　ジョウスケ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

現代日本社会における高齢者介護の変容

ー「人生100年時代」における高齢者と家族ー

[講演概要]

この4半世紀で日本の高齢者介護のあり方は大きく変容した。特に、超高齢化・長寿化を背景に家族のあり方が大きく変化すると同時に、介護保険制度の創設・改革を通じてサービス調達のあり方自体も劇的に変容した。その結果、今日においては、単身世帯や高齢夫婦世帯の急増に加えて、シングルの成人子(息子・娘)との同居も増加した。また、家族をとりまく問題も大きく様変わりした。こうした高齢者介護の大きな歴史的変容を報告すると同時に、私たちの社会においてどのような制度設計が求められているのかを検討する。

E-8	天田　城介	アマダ　ジョウスケ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

ケアの現場で働くということ

ー超高齢社会・人口減少社会における高齢者ケアの現場の苦悩と葛藤ー

[講演概要]

超高齢社会・人口減少社会において「高齢者ケア」と呼ばれる現場で働く人たちは、長期において長寿化した単身高齢者の支援や複雑な問題を抱える家族への関わりを続けると同時に、個人や家族のきわめてプライベートな領域にも踏み込まざるを得ない状況にある。実際に、家族をめぐる貧困・暴力・虐待などのケースへの関わりの中でケアの現場で働く人たちは幾重にも深い苦悩と葛藤を経験しておる。このような高齢者ケアの現場がどのような歴史的・社会的背景のもとで生まれてきたのか、そのような状況を踏まえていかに制度設計をするべきかを探る。

E-9	天田　城介	アマダ　ジョウスケ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

ポスト経済成長時代における超高齢社会・人口減少社会における「貧困」の現実
ー戦後日本型生存保障システムから排除された人たちー

[講演概要]

現代日本社会における高齢者はひとくくりに「高齢者」と呼べないほどきわめて多様化している。とりわけ、ポスト経済成長時代/低成長時代にあっては高齢者の経済的格差はきわめて大きく、それぞれの生活も一枚岩に語ることができないのが実情である。今日、貧困状況に置かれている高齢者はどのような人たちであり、なにゆえ貧困状況に陥ってしまうのか、こうした問題を解決するために私たちはいかにして新たな制度設計を創り出していくことができるのかを具体的に検討する。

E-10	天田　城介	アマダ　ジョウスケ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

超高齢化・人口減少社会における地方の現実
ー「地方創成」時代における新たな地域社会のあり方ー

[講演概要]

今日における「地方創成」時代においては未曽有の超高齢化・人口減少化のもとでどのような自治体政策を打ち出すのかが切実な問いになっているが、そもそも地方において起こってしまっている現実がなにゆえ生じているのか、それはどのような歴史的・時代的な背景のもとで作り出されてきたのか、私たちの社会はいかにあるべきであるのか等が問われることもなく、ただ政策議論に終始している。本講義では社会学の視点から超高齢化・人口減少社会における地方の現実を分析し、社会システムのあり方自体を再考することを提示する。

E-11	川崎　一泰	カワサキ　カズヤス	総合政策学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

アフターコロナの地域創生
ー自律的発展を遂げる地域づくりを考えるー

[講演概要]

コロナ禍の行動制限が解除され、国内外の経済活動が元通りになりつつある。一方、少子高齢化が進む中、地域経済が縮小する構造的な問題を抱える地方が多い。こうした地域の課題に対して、国内外の事例などを踏まえつつ、地域創生の仕組みづくりの議論を展開する。特に、この講演では補助金に頼らない自律的な地域づくりをする仕組みを示しながら、地域の実情に合わせた地域創生の手立てを考える。

E-12	小林　勉	コバヤシ　ツトム	総合政策学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】	

スポーツで挑む社会貢献

[講演概要]

貧困や平和構築などの開発イシューを前に、世界各地でスポーツの活用可能性が注目され始め、そうした活動への関心が高まりをみせてきている。こうした時勢の中、スポーツを通じた国際貢献活動や地域活性化事業がどのように展開されてきているのか。スポーツの位置づけが欧米の援助機関を核とした国際社会で変化してきたことを踏まえ、日本でこれまであまり語られてこなかったグローバル時代における「スポーツで挑む社会貢献」の位相についてお話します。

E-13	**飯尾　淳**	**イイオ　ジュン**	国際情報学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　　：　　【対面】【オンライン】			

SNSを科学に分析する方法
ーネットのトレンドはどう動く?ー

[講演概要]

X（旧Twitter）やFacebookといったソーシャルメディア(SNS)が今では生活の一部になっている人も多いことでしょう。そのような現代において、ネットで交わされているコミュニケーションは、はたして世相を映す鏡になっているのでしょうか。その状況を確認するためにSNSを分析するシステムを運用したところ、たいへん興味深い傾向が発見されました。本講演では、システムの概要と、その結果から分かったこと、実社会とネットコミュニティの関連性などについて、解説します。

【人文・文化】

F-1	小林　謙一	コバヤシ　ケンイチ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

遺跡発掘でさぐる縄文の暮らし
ー縄文時代はSDG'sか?ー

[講演概要]
最新の研究から、縄文文化の始まりは15,000年以上前の氷河期に遡り、世界初の土器出現地の一つであることがわかりました。芸術性に富んだ土器文化を持ち、世界的にも例がない1万年以上の長さをもって日本列島に栄え、現代でも復元できない漆加工技術や木工技術がありました。環境変動に対する適応がみられる一方で、急激な人口減少の時期も認められ、うまくいっているときと厳しいときとがあったようです。中央大学がおこなっている発掘を含めて考古学の最新研究を紹介します。

F-2	小林　謙一	コバヤシ　ケンイチ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

考古学からみた邪馬台国論争
ー卑弥呼の墓はどこか?ー

[講演概要]
炭素14年代測定や年輪年代の研究が進み、弥生、古墳時代の年代が定説よりも古い可能性がでてきました。弥生時代から古墳時代へと移る画期となる最古の前方後円墳である箸墓古墳が3世紀中頃となる可能性が示され、卑弥呼の墓かと注目されています。近年では纏向遺跡から宮殿跡らしき建築物の跡もみつかっています。一方、鉄の出土量などからは吉野ヶ里遺跡に代表される九州説も否定できません。日本古代国家形成に関わる邪馬台国論争について考古学的にさぐります。

F-3	小林　謙一	コバヤシ　ケンイチ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

災害の考古学
ー災害史研究および復興支援の一環としてー

[講演概要]
2011年の東日本大震災は大変な災害でした。考古学的調査でも過去の地震・津波・洪水・火山噴火など災害痕跡が検出され、災害史研究として深められつつあり、将来の災害予防に貢献できるはずです。また、福島・岩手では復興が今も進められていますが、その中には文化財調査も関わっています。遺跡調査は復興の妨げにならないよう様々な工夫がなされ、全国の支援を受けつつ進められていますが、そのなかでも東北地方の歴史に関わる重要な発見が次々とされています。歴史を掘り起こし、地域の皆さんが故郷を誇りとする力となりたいと希望しています。

F-4	小林　謙一	コバヤシ　ケンイチ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

先史・古代の日韓関係

[講演概要]
日本考古学・歴史学研究の成果をもとに、日本列島と朝鮮半島を中心とした大陸との交流関係について、遺跡や遺物から検討する。先史時代に「日本」という枠組みはなく、日本列島と朝鮮半島は深い関係があったことを示す。韓国の発掘調査及びの出土資料、博物館や遺跡を紹介し、韓国考古学研究の現状を紹介する。新石器時代(縄紋時代)から原三国時代(古墳時代)まで、邪馬台国問題にも触れながら、時に緊密な交流関係を紐解きたい。

F-5	鈴木　直志	スズキ　タダシ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】	

ヨーロッパ絶対王政と戦争

[講演概要]

近世ヨーロッパの絶対王政という現象は、集権的統治体制ないし集権的君主制と呼ぶべきものであり、王様が好き勝手に領民を搾取した暴政ではない。この集権的統治体制はもっぱら戦争によって生み出された。具体的には、横隊戦術の成立と宗教内乱の克服がその主要因であった。絶対王政時代を終わらせたのは革命戦争であった。これにより、宗教内乱以来戦争に再び激しい情念が入り込み、動員数と犠牲者数が桁違いに多くなる。

F-6	西川　広平	ニシカワ　コウヘイ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

文化遺産と博物館

ー地域活性化に向けたビジョンー

[講演概要]

歴史や文化に関わる調査研究や資料収集・保存、展示、教育普及等の事業活動を行う社会教育施設である博物館は、この十数年間に財政削減や人員不足等により厳しい運営を迫られてきました。この一方、地域創成がクローズアップされる現在、地元に伝来する文化遺産の活用をとおして、地域社会の活性化に向けた新たな役割が博物館に期待されています。本講演では、博物館における新たな取り組みの事例を紹介します。

F-7	西川　広平	ニシカワ　コウヘイ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

記録された災害史

ー地震・噴火と日本列島の社会ー

[講演概要]

近年、地震・噴火・風水害等、大規模な自然災害が相次いで発生する中、災害のシステムや避難・復興への対応を学ぶため、過去に発生した災害の記録が注目されています。それでは、こうした記録がどのように作成され、後世に語り継がれてきたのでしょうか。本講演では、南海トラフを震源域とする大規模地震(東海地震等)や富士山の噴火災害の歴史とともに、その記録が作成・継承された状況を紹介し、この問題について探ります。

F-8	西川　広平	ニシカワ　コウヘイ	文学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

水資源の歴史学

ー治水と利水をめぐってー

[講演概要]

近年、相次いで日本列島の各地を暴風雨が襲い、大規模な洪水が発生して甚大な被害が発生している一方、私たちの生活や産業は、豊富な水資源によって支えられています。このように水資源は現代社会に大きな影響を及ぼしていることは言うまでもありません。水資源と人々との関わりの歴史を紐解くと、現代とは異なった考え方や取り組みを発見できます。本講演では、中世・近世における治水と利水の歴史を通して、自然と人々の生活との共存について考えます。

【教育・心理・哲学】

G-1	**宮崎　伸一**	**ミヤザキ　シンイチ**	法学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】**		

眠りの力を引き出す

ー睡眠医療専門医が伝える良質な眠りへの道ー

[講演概要]

免疫力、ストレスへの耐性、活動のパフォーマンスなど、日常生活に与える睡眠の重要性はいうまでもありません。不眠症、睡眠時無呼吸症候群、過眠症など睡眠障害の治療法も興味を持たれるところ思います。また、医療機関にかかる前に睡眠環境を整え、寝る前の行動や習慣を改善し、自分に合ったリラクゼーションを身に付けることで睡眠が改善することもあります。本講演では、これら睡眠に関する知見を睡眠医療専門医の立場からひろくお伝えするとともに、昼寝の効用、夢の活用法など眠りのポジティブな効果も知っていただき、眠りの力を最大限に引き出すような方法をお伝えしようと思います。

G-2	**飯尾　淳**	**イイオ　ジュン**	国際情報学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

異文化間交流の世界

ーオンライン会議ツールを活用した国際交流ー

[講演概要]

コロナ禍を経て教育のオンライン化は大きく進みました。オンラインのコミュニケーションツールが普及した成果として、オンラインで気軽に海外につながることができるようになった点があります。オンライン会議ツールと我々が開発した交流教育支援アプリを用い、グローバル感覚を育むことを目的として日本と海外の高校生・大学生を結んだ異文化交流教育を行うプロジェクトを、我々は2020年度から進めてきています。その概要と、成果について解説します。

【ビジネス】

H-1	赤羽　淳	アカバネ　ジュン	経済学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】	

EV(電動車)普及が社会に与えるインパクト
ー日本の自動車産業は生き残れるのかー

[講演概要]
講演では、現在普及期にある電気自動車が社会にもたらすインパクトについて、解説します。また日本の自動車産業が生き残れるかどうか、その可能性についても説明を加えたいと思います。講演者は20年間にわたり自動車産業のリサーチをしてきました。その経験を踏まえて、業界の方のみならず一般の方にもわかりやすい講演を目指します。

H-2	赤羽　淳	アカバネ　ジュン	経済学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】	

アフターコロナにおける日本企業の人事戦略

[講演概要]
日本企業の雇用慣行は、いわゆる年功序列、終身雇用、企業内労働組合の三要素を特徴とすると言われてきましたが、足元では急速にこの慣行が崩れています。特にコロナ禍の三年間は、DXとともにテレワークの普及を促し、雇用形態の変革を加速させたといわれています。講演では、日本企業の雇用慣行がなぜ急激に変化しているのか、その要因を探るとともに、今の若者が会社で働くことをどのように考えているのかまで、解説したいと思います。

H-3	三浦　俊彦	ミウラ　トシヒコ	商学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

個人の強さと組織の弱さ
ー日本消費者・日本企業の特徴を、奈良・平安の歴史的起源から考えるー

[講演概要]
日本の消費者は、世界一品質に厳しく、デザインやイメージも重視し、日本の技術者は、カイゼンのPDCAを回し続けて、匠の技を極めます。一方、そんな日本の消費者も世間の流行に流されますし、日本の企業トップは、有能な技術者・社員に大きな方向性を示せません。
「個人の強さと組織の弱さ」という、コロナ禍でも垣間見えた日本的特徴を、奈良・平安の起源から説き起こし、これからの処方箋を提示します。

H-4	三浦　俊彦	ミウラ　トシヒコ	商学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式	:	【対面】【オンライン】	

日本マンガ・アニメの強さの秘密
ー世界を制した戦略と歴史的伝統ー

[講演概要]
「ONE PIECE」が最多発行コミックとして2015年にギネス認定されたように、日本マンガ・アニメは世界を席巻しています。20世紀は米ディズニーの時代でしたが、21世紀は日本マンガ・アニメの時代のようです。この状況を、手塚治虫以来の日本マンガの革新、奈良・平安から江戸期に連なる日本人の美意識の伝統、さらにマンガ週刊誌・毎週放送TVアニメというフォーマット(規格)の確立の視点から、欧米とも比較しながら分析することによって、日本マンガ・アニメの強さの秘密に迫ります。

H-5	**三浦　俊彦**	**ミウラ　トシヒコ**	商学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

日本の消費者はなぜ品質に厳しいのか
―モノづくり大国日本の歴史的分析とこれからの戦略―

[講演概要]
日本の消費者が品質に厳しいことは世界的に有名ですが、何故そうなったのでしょうか。その理由を奈良・平安まで遡り、欧米と比較しながら、歴史的に論証し、それが世界に冠たる日本のモノづくり大国を生み出したことを説明します。一方で、過剰品質のガラパゴス化や長時間労働という問題点も起きており、それらへ向けてのマネジメント的処方箋も提言します。

H-6	**三浦　俊彦**	**ミウラ　トシヒコ**	商学部教授［講師紹介はこちら］
講　演　形　式　：	**【対面】【オンライン】**		

クールジャパンの起源に迫る
―日本人の美意識の歴史的分析とこれからの戦略―

[講演概要]
これまで日本は自動車や家電などを代表にモノづくり大国と呼ばれていましたが。近年はアニメやゲームなど、モノではなくソフトにも世界が注目し、クールジャパンと呼ばれています。これは19世紀末の欧州で浮世絵などが流行したジャポニスムを彷彿とさせますが、このような日本人の美意識のルーツを奈良・平安までたどり、欧米と比較しながら論証します。またこれからのクールジャパン戦略も提言します。

【その他】

I-1	**市場　俊之**	**イチバ　トシユキ**	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：　【対面】			

田代菊之助-中央大学オリンピアン第1号-
ー長距離走者ないしは人力車夫だった中央大学学生の生涯ー

[講演概要]
田代菊之助は、中央大学生でありながら人力車夫でもあったため、一時参加資格問題の渦中にあった。結果的に1924年オリンピックパリ大会陸上競技に参加した。彼はまた、「箱根駅伝」を走った。これら以外の田代の人生は不明だったが、今般、市場によって田代の伝記的検討がなされ、彼の生涯が(一定程度)明らかになった。

I-2	**市場　俊之**	**イチバ　トシユキ**	商学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：　【対面】			

義足ジムナスト(体操競技選手)ジョージ・アイザー
ーパラアスリートがオリンピックで金メダル!ー

[講演概要]
1904年オリンピック・セントルイス大会体操競技において、ドイツ系アメリカ人ジョージ・アイザーが大活躍した。彼は義足装着者であったが、跳馬で優勝するなどしたのである。1960年代以降、オリンピックとパラリンピックはそれぞれに開催されているが、100年以上前のオリンピックで(今で言う)パラアスリートが躍動したことは、今日的視点から「インクルシーヴ」の先取り現認識できよう。義足アスリートアイザーの生涯を浮き彫りにする。

I-3	**松野　良一**	**マツノ　リョウイチ**	国際情報学部教授 [講師紹介はこちら]
講　演　形　式　：　【対面】			

特攻と中央大学

[講演概要]
中央大学を繰り上げ卒業、あるいは在学のまま学徒出陣し、特攻隊で散っていったOBが、松野ゼミの調査で約70人いることがわかりました。航空特攻以外にも、人間魚雷「回天」、人間爆弾「桜花」、さらには水上特攻で沖縄へ向かった戦艦大和にも中大OBが乗っていました。なぜ学徒が戦場に行くことになったのか、特攻命令をどう受け止めたのか、記憶を後世につなぐ意味について、ドキュメンタリー上映も含めて解説します。

講師紹介（法学部）

井川　志郎	**イカワ　シロウ**	法学部准教授	[　博士（法学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

A-1　労働人権デューディリジェンス入門

[学歴]

中央大学法学研究科民事法専攻博士後期課程修了(2015/03)
中央大学法学研究科民事法専攻博士前期課程修了(2012/03)
中央大学法学部国際企業関係法学科　卒業(2010/03)

[主な職歴]

中央大学法学部准教授(2023/04-)
山口大学経済学部准教授(2019/11-2023/03)
山口大学経済学部講師(2017/04-2019/10)
独立行政法人 労働政策研究・研修機構アシスタント・フェロー(2015/04-2017/02)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100004522_ja.html

工藤　裕子	**クドウ　ヒロコ**	法学部教授	[公共政策学Ph.D.]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

D-1　生成AIとは何か
D-2　AI&ビッグ・データ時代のプライバシー
E-1　ポピュリズムはなぜ世界中で台頭するのか
E-2　オリンピックとは何か
E-3　ポスト・コロナの観光のあり方とは

[学歴]

早稲田大学大学院政治学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得満期退学(1995/03)
早稲田大学大学院政治学研究科政治学専攻博士前期課程修了(1992/03)
早稲田大学政治経済学部政治学科卒業(1990/03)

[主な職歴]

中央大学法学部教授(2005/04-)
早稲田大学教育学部専任講師(2003/04より助教)(1998/04-2005/03)
愛知淑徳大学現代社会学部専任講師(1995/04-1998/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002834_ja.html

只木　誠	タダキ　マコト	法学部教授	[　博士（法学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

A-2　特殊詐欺と刑事法

A-3　医師によるALS患者殺人事件をめぐって

A-4　「犯罪」とはなにか、「刑罰」とは何か

A-5　医療過誤事例と刑法

A-6　特殊感染症のパンデミックや大規模災害の発生と法

[学歴]

中央大学法学研究科刑事法専攻博士後期課程満期退学(1989/03)

中央大学法学研究科刑事法専攻博士前期課程修了(1984/03)

中央大学法学部法律学科卒業(1981/03)

[主な職歴]

中央大学大学院法学研究科委員長(2023/11-)

中央大学日本比較法研究所長(2008/11-2014/11)

中央大学大学院法務研究科教授(2004/04-2014/03)

中央大学法学部教授(2002/04-)

獨協大学法学部教授(2000/04-2002/03)

獨協大学法学部助教授(1995/04-2000/03)

獨協大学法学部専任講師(1992/04-1995/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002858_ja.html

西海　真樹	ニシウミ　マキ	法学部教授	[大学高等研究学位(DESU)]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

C-1　パリ国際大学都市日本館館長の日々

[学歴]

中央大学法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得退学(1985/07)
エクス・マルセイユ第3大学法学研究科国際法・ヨーロッパ法（DEA/DESU）博士前期修了(1985/06)
中央大学法学研究科公法専攻博士前期課程修了(1982/03)
中央大学法学部法律学科卒業(1980/03)

[主な職歴]

中央大学社会科学研究所長(2018/04-2021/03)
中央大学選任評議員(2013/05-2017/05)(2017/05-)
中央大学大学院法学研究科委員長(2011/11-2013/10)(2013/11-2015/10)
中央大学法学部教授(1996/04-)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002877_ja.html

橋本　基弘	ハシモト　モトヒロ	法学部教授	[博士（法学）]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

A-7　日本国憲法から見る日本の政治
A-8　陰謀論・フェイクニュースとどう向き合うのか

[学歴]

中央大学法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得満期退学(1989/03)
中央大学法学研究科公法専攻博士前期課程修了(1985/03)
中央大学法学部法律学科卒業（1982/03）

[主な職歴]

中央大学副学長(2021/05-)(2014/11-2017/11)
学校法人中央大学常任理事(2017/11-2020/06)
学校法人中央大学理事(2017/05-2020/06)
中央大学法学部長(2009/11-2013/10)
中央大学法学部教授(2004/04-)
高知県立高知女子大学文化学部教授(2002/04-2004/03)
高知県立高知女子大学大学院人間生活学研究科兼務(2001/04-2004/03)
高知県立高知女子大学文化学部助教授(憲法・法学)(1992/04-2002/03)
高知県立高知女子大学文学部（現高知県立大学文化学部）専任講師(1991/04-1992/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002883_ja.html

洞澤　秀雄	ホラサワ　ヒデオ	法学部教授	[　修士（政治学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

A-9　再エネ発電施設の立地をめぐる紛争と法:太陽光・風力発電を中心に

[学歴]

早稲田大学政治学研究科政治学専修行政法専攻博士後期課程単位取得満期退学(1985/07)

早稲田大学政治学研究科政治学専修行政法専攻修士課程修了(2000/03)

上智大学法学部国際関係法学科卒業(1998/03)

[主な職歴]

中央大学法学部法律学科教授(2023/04-)

南山大学法務研究科教授(2019/04-2023/03)

南山大学法学部教授(2018/04-2019/03)

南山大学法学部准教授(2012/04-2018/03)

札幌学院大学法学部 准教授(2000/04-2012/03)

Associate Professor, Faculty of Law, Sapporo Gakuin University(2009/04-2012/03)

札幌学院大学(2003/10-2009/03)

Lecture, Faculty of Law, Sapporo Gakuin University(2003-2009)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100004519_ja.html

宮崎　伸一	ミヤザキ　シンイチ	法学部教授	[　博士（医学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

G-1　眠りの力を引き出す

[学歴]

東京医科歯科大学医学部医学科精神行動医科学分野専攻(2003/03)

横浜市立大学医学部医学科卒業(1995/03)

東京大学農学部農芸化学科卒業（1981/03）

[主な職歴]

中央大学法学部教授(2012/04-)

医療法人社団東京愛成会高月病院医長(2009/07-2012/03)

医療法人社団東京愛成会高月病院医員(1997/04-2009/06)

サントリー株式会社(1981/04-1989-03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002897_ja.html

講師紹介（経済学部）

赤羽　淳	アカバネ　ジュン	経済学部教授	[　博士（経済学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

C-2　台湾とグローバル社会

H-1　EV(電動車)普及が社会に与えるインパクト

H-2　アフターコロナにおける日本企業の人事戦略

[学歴]

東京大学経済学研究科博士後期課程修了(2010/12)

国立台湾大学経済系研究所博士(2001/08)

台湾師範大学国語教学中心(1999/09)

東京大学経済学研究科修士課程修了(1995/03)

東京大学経済学部経済学科卒業(1993/03)

[主な職歴]

中央大学経済学部 教授(2019/04-)

中央大学経済学部 准教授(2018/04-2019/03)

横浜市立大学 国際総合科学部 経営科学系 経営学コース 国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻 准教授(2012/04-2018/03)

(株)日立総合計画研究所(2001/08-2002/03)

(株)三菱総合研究所(1995/04-1999/02、2002/04-2012/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002915_ja.html

阿部　正浩	アベ　マサヒロ	経済学部教授	[　博士（商学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

B-1　2030年、日本経済と労働市場はどうなる

B-2　高齢期の働き方、過ごし方

[学歴]

慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程満期退学(1995/03)

慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了(1992/03)

慶應義塾大学商学部卒業(1990/03)

[主な職歴]

中央大学大学院経済学研究科委員長(2017/11-2021/10)

中央大学経済学部 教授(2013/04-)

獨協大学経済学部教授(2008/04-2013/03)

獨協大学経済学部助教授(2002/04-2007/03、2007/04から准教授)

獨協大学経済学部専任講師(2000/04-2002/03)

一橋大学経済研究所 助教授(1998/04-2000/03)

財団法人電力中央研究所社会経済研究所 主任研究員(1995/04-1998/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002918_ja.html

関野　満夫	**セキノ　ミツオ**	経済学部教授	[　博士（経済学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

B-3　軍事費膨張は国民に何をもたらしたのか

[学歴]

京都大学経済学研究科博士課程満期退学(1987/03)
京都大学経済学研究科修士課程修了(1981/03)
北海道大学農学部農業経済学科卒業(1977/03)

[主な職歴]

中央大学経済学部教授(1996/04-)
中央大学図書館長(2017/04/-2021/03)
中央大学経済学部長(2009/11-2013/10)
中央大学経済学部助教授(1990/04-1996/03)
中央大学経済学部助手(1987/04-1990/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002954_ja.html

近廣　昌志	**チカヒロ　マサシ**	経済学部准教授	[　博士（金融学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

B-4　長期金利の上昇、円安が進む日本の金融構造
B-5　30年間の金融緩和が効かない理由
B-6　日本はデフレ経済ではなかった?

[学歴]

中央大学商学研究科商学専攻博士後期課程修了(2011/03)
中央大学商学研究科商学専攻博士前期課程修了(2005/03)
中央大学商学部金融学科卒業(2001/03)

[主な職歴]

中央大学経済学部准教授(2022/04-)
愛媛大学法文学部准教授(2017/04-2022/03)
愛媛大学法文学部専任講師(2012/09-2017/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002962_ja.html

鳥居　伸好	トリイ　ノブヨシ	経済学部教授	[　博士（経済学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

B-7　グローバル化と地域経済の活性化

[学歴]

愛知大学経済学研究科博士課程修了(1989/03)
愛知大学経済学研究科修士課程修了(1981/03)
中央大学経済学部国際経済学科卒業(1979/03)

[主な職歴]

中央大学ボランティアセンター長(2021/10-)
中央大学学生部長(2021/05-)
中央大学副学長(2021/05-)
中央大学経済学部教授(1998/04-)
横浜国立大学教育人間科学部助教授（併任）(1997/10/-1998/03)
横浜国立大学大学院教育学研究科助教授(1990/04-1998/03)
横浜国立大学教育学部助教授(1990/04-1998/03)
横浜国立大学教育学部専任講師(1989/04-1990/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002968_ja.html

山﨑　朗	ヤマサキ　アキラ	経済学部教授	[　経済学博士　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

B-8　ハイモビリティとローモビリティの対立
B-9　プレミアムな地域創生
E-4　高度国防国家の構想

[学歴]

九州大学経済学研究科経済工学専攻博士課程単位取得退学(1986/03)
九州大学経済学研究科経済工学専攻修士修了課程(1983/03)
京都大学工学部合成化学科卒業(1981/03)

[主な職歴]

中央大学評議員(2023/05-)
中央大学経済学部長(2019/11-2021/10)
中央大学学長専門員(2015/02-2017/01)
中央大学経済学部教授(2005/04-)
九州大学経済学部経営学科長(2004/04-2005/03)
九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻（MBA）教授(2002/04-2005/03)
九州大学大学院経済学研究院教授(2000/04-2005/03)
九州大学大学院比較社会文化研究科助教授(1994/04-2002/03)
九州大学経済学部助教授(1993/04-2000/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100002999_ja.html

講師紹介（商学部）

市場　俊之	イチバ　トシユキ	商学部教授	[　社会学博士　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

I-1　田代菊之助-中央大学オリンピアン第1号-

I-2　義足ジムナスト(体操競技選手)ジョージ・アイザー

[学歴]

テュービンゲン大学大学院Institut fur Sportwissenschaft博士課程中退(1993/03)

東京学芸大学教育学研究科修士課程修了(1983/03)

東京学芸大学教育学部特別教科教員養成課程保健体育専攻卒業(1981/03)

[主な職歴]

中央大学保健体育研究所長(2021/04-)

中央大学商学部教授(2004/04-)

中央大学商学部助教授(1995/04-2004/03)

中央大学商学部専任講師(1993/04-1995/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003012_ja.html

三浦　俊彦	ミウラ　トシヒコ	商学部教授	[　博士（商学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

H-3　個人の強さと組織の弱さ

H-4　日本マンガ・アニメの強さの秘密

H-5　日本の消費者はなぜ品質に厳しいのか

H-6　クールジャパンの起源に迫る

[学歴]

慶應義塾大学大学院商学研究科商学専攻博士課程中退(1986/03)

慶應義塾大学大学院商学研究科商業学専攻修士課程修了(1984/03)

慶應義塾大学商学部卒業(1982/03)

[主な職歴]

中央大学図書館長(2021/4-)

中央大学企業研究所長(2013/12-2021/03)

中央大学商学部教授(1999/04-)

中央大学商学部助教授(1990/04-1999/03)

中央大学商学部専任講師(1989/04-1990/03)

中央大学商学部助手(1986/04-1989/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003083_ja.html

講師紹介（理工学部）

大石　克嘉	**オオイシ　カツヨシ**	理工学部教授	[　　理学博士　　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

D-3　地球環境と二酸化炭素排出量の問題・関係

[学歴]

東北大学理学研究科化学専攻博士後期課程修了(1991/03)
東北大学理学研究科化学専攻博士前期課程修了(1988/03)
中央大学理工学部応用化学科卒業(1986/03)

[主な職歴]

中央大学理工学部教授(2008/04-)
中央大学理工学部准教授(2007/04-2008/03)
中央大学理工学部助教授(1995/04-2007/03)
(株)東芝研究開発センター材料デバイス研究所第1研究所無機機能性グループ(1991/04-1995/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003115_ja.html

久保田　彰	**クボタ　アキラ**	理工学部准教授	[　　工学博士　　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

D-4　情報通信の発展を支える虚数

[学歴]

東京大学工学研究科電子情報工学専攻博士後期課程修了(2002/03)
東京大学工学研究科電子情報工学専攻博士前期課程修了(1999/03)
大分大学工学部電気電子工学科卒業(1997/03)

[主な職歴]

中央大学理工学部准教授(2011/04-)
中央大学理工学部電気電子情報通信工学科助教(2009/04-2011/03)
東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報システム専攻助教(2006/04-2009/03)
東京工業大学大学院総合理工学研究科物理情報システム専攻助手(2005/04-2006/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003138_ja.html

田口　善弘	タグチ　ヨシヒロ	理工学部教授	[　　理学博士　　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

D-5　はじめての機械学習

D-6　生命はデジタルでできている

D-7　AI(人工知能)の過去・現在・未来

[学歴]

東京工業大学理工学研究科物理学専攻博士後期課程修了(1988/03)

東京工業大学理工学研究科物理学専攻博士前期課程修了(1986/03)

東京工業大学理学部応用物理学科卒業(1984/03)

[主な職歴]

中央大学理工学部教授(2006/04-)

中央大学理工学部助教授(1997/04-2006/03)

ドイツ連邦共和国 Forschungszentrum Juelich GmbH 研究員(1989/10-1990/09)

東京工業大学理学部物理学科助手(1988/04-1997/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003174_ja.html

手計　太一	テバカリ　タイチ	理工学部教授	[　博士（工学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

C-3　途上国・中進国支援とインフラ輸出

D-8　流域治水

[学歴]

中央大学理工学研究科土木工学専攻博士後期課程修了(2006/03)

中央大学理工学研究科土木工学専攻博士前期課程修了(2002/03)

中央大学理工学部土木工学科卒業(2000/03)

[主な職歴]

中央大学理工学部教授(2021/04-)

富山県立大学工学部准教授(2014/04-2021/03)

富山県立大学工学部講師(2009/04-2014/03)

福岡大学工学部社会デザイン工学科助教(2007/04-2009/03)

福岡大学工学部社会デザイン工学科助手(2006/04-2007/03)

独立行政法人土木研究所水工研究グループ（水理水文）CREST研究員(2002/04-2006/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003187_ja.html

戸井　武司	トイ　タケシ	理工学部教授	[　博士（工学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

D-9　新しい生活様式で着目される「音」の効果について

D-10　聴覚の謎に迫る!

[学歴]

中央大学大学院理工学研究科精密工学専攻博士後期課程修了(1996/03)

中央大学大学院理工学研究科精密工学専攻博士前期課程修了(1989/03)

中央大学理工学部精密機械工学科卒業(1987/03)

[主な職歴]

中央大学商議員(2021/10-)

中央大学理工学部教授(2004/04-)

中央大学理工学部助教授(1998/04-2004/03)

中央大学理工学部専任講師(1996/04-1998/03)

三菱電機株式会社中央研究所機械技術研究部(1989/04-1993/05)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003190_ja.html

生田目　崇	ナマタメ　タカシ	理工学部教授	[　博士（工学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

D-11　DXとデータサイエンス

[学歴]

東京理科大学工学研究科経営工学専攻博士後期課程修了(1999/03)

東京理科大学工学研究科経営工学専攻修士課程修了(1996/03)

東京理科大学工学部第一部経営工学科卒業(1994/03)

[主な職歴]

中央大学理工学部 教授(2013/04-)

専修大学商学部マーケティング学科 教授(2010/04-2013/03)

専修大学商学部マーケティング学科 助教授(のち准教授)(2007/04-2010/03)

専修大学商学部商業学科 専任講師(2002/04-2004/03)

東京理科大学工学部第一部経営工学科 助手(1999/04-2002/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003201_ja.html

山村　寛	**ヤマムラ　ヒロシ**	理工学部教授	[　博士（工学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

E-5　水循環基本法と水資源を活用した地域活性

[学歴]

北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット専科Bコース修了(2009/03)
北海道大学工学研究科都市環境工学専攻博士課程修了(2008/03)
北海道大学工学研究科都市環境工学専攻修士課程修了(2006/03)
北海道大学工学部環境工学科卒業(2004/03)

[主な職歴]

中央大学理工学部教授(2020/04-)
中央大学理工学部准教授(2015/04-2020/03)
中央大学理工学部助教(2012/04-2015/03)
旭化成ケミカルズ膜・水処理事業部マイクローザ技術開発部研究員(2009/04～2012/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003257_ja.html

講師紹介（文学部）

天田　城介	アマダ　ジョウスケ	文学部教授	[　博士（社会学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

E-6　超高齢社会・人口減少社会における社会設計のあり方

E-7　現代日本社会における高齢者介護の変容

E-8　ケアの現場で働くということ

E-9　ポスト経済成長時代における超高齢社会・人口減少社会における「貧困」の現実

E-10　超高齢化・人口減少社会における地方の現実

[学歴]

立教大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程修了(2000/03)

立教大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了(1997/03)

立教大学社会学部産業関係学科卒業(1995/03)

[主な職歴]

中央大学文学部教授(2015/04-)

立命館大学大学院先端総合学術研究科教授(2014/04-2015/03)

立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授(2008/04-2014/03)

立命館大学大学院先端総合学術研究科准教授(特別招聘准教授)(2007/04-2008/03)

熊本学園大学社会福祉学部講師(2003/04より助教授)(2002/04-2006/03)

立教大学社会学部助手(2000/04-2002/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003271_ja.html

小林　謙一	コバヤシ　ケンイチ	文学部教授	[　博士（文学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

F-1　遺跡発掘でさぐる縄文の暮らし

F-2　考古学からみた邪馬台国論争

F-3　災害の考古学

F-4　先史・古代の日韓関係

[学歴]

総合研究大学院大学大学院文化科学研究科日本歴史専攻博士課程修了(2004/03)

慶應義塾大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了(1987/03)

慶應義塾大学文学部民族学考古学卒業(1983/03)

[主な職歴]

中央大学文学部教授(2013/04-)

中央大学文学部准教授(2008/04-2013/03)

国立歴史民俗博物館研究部助教(2002/05-2008/03)

金沢大学埋蔵文化財調査センター助手(1998/03-2000/12)

目黒区大橋遺跡調査会主任調査員(常勤)(1992/06-1998/01)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003296_ja.html

鈴木　直志	スズキ　タダシ	文学部教授	[　博士（史学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

F-5　ヨーロッパ絶対王政と戦争

[学歴]

中央大学文学研究科西洋史学専攻博士後期課程満期退学(1997/03)
中央大学文学研究科西洋史学専攻修士修了課程(1993/03)
中央大学文学部西洋史学専攻卒業(1989/03)

[主な職歴]

中央大学文学部教授(2014/04-)
桐蔭横浜大学法学部 教授(2009/04-2014/03)
桐蔭横浜大学法学部 准教授(2001/4-2009/03)
桐蔭横浜大学法学部 専任講師(1997/04-2001/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003309_ja.html

西川　広平	ニシカワ　コウヘイ	文学部教授	[　博士（史学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

F-6　文化遺産と博物館
F-7　記録された災害史
F-8　水資源の歴史学

[学歴]

中央大学文学研究科日本史学専攻博士後期課程修了(2011/03)
中央大学文学研究科国史学専攻博士前期課程修了(1998/03)
中央大学文学部史学科国史学専攻卒業(1996/03)

[主な職歴]

中央大学文学部教授(2022/04-)
中央大学文学部准教授(2017/04-2022/03)
山梨県立富士山世界遺産センター　学芸員（山梨県立博物館併任）(2016/04-2017/03)
山梨県知事政策局富士山保全推進課　副主査（山梨県立博物館併任）(2014/04-2016/03)
山梨県立博物館　学芸員(2005/04-2014/03)
山梨県教育委員会学術文化財課　学芸員(2001/04-2005/03)
八王子市郷土資料館　専門員(1997/04-2001/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003335_ja.html

講師紹介（総合政策学部）

川崎　一泰	カワサキ　カズヤス	総合政策学部教授	[　博士(経済学)　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

B-10　日本の経済はどうなっているか?

B-11　人生100年時代の社会保障を考える

E-11　アフターコロナの地域創生

[学歴]

法政大学社会科学研究科経済学専攻博士課程満期退学(2000/3)

法政大学社会科学研究科経済学専攻修士課程修了(1997/03)

法政大学経済学部経済学科卒業(1993/03)

[主な職歴]

中央大学総合政策学部教授(2019/04-)

東洋大学経済学部教授(2013/04-2019/03)

東海大学政治経済学部准教授(2004/04-2013/03)

東海大学政治経済学部講師(2001/04-2004/03)

社団法人日本経済研究センター研究員(2000/04-2001/03)

川崎市総合企画局総合計画専門調査員(1998/04-2000/03)

財団法人社会開発総合研究所研究員(1993/04-1997/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003374_ja.html

小林　勉	コバヤシ　ツトム	総合政策学部教授	[　博士（学術）　]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

E-12　スポーツで挑む社会貢献

[学歴]

名古屋大学国際開発研究科国際協力専攻博士後期課程修了(2001/03)

筑波大学体育研究科体育方法学（スポーツ社会学）専攻修士課程修了(1995/07)

筑波大学体育専門学群卒業(1993/03)

[主な職歴]

中央大学大学院総合政策研究科委員長(2021/12-)

中央大学総合政策学部教授(2014/04-)

中央大学総合政策学部准教授(2007/04-2014/03)

中央大学総合政策学部助教授(2004/04-2007/03)

信州大学教育学部専任講師(2001/04-2004/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003376_ja.html

講師紹介（国際経営学部）

深町　英夫	**フカマチ　ヒデオ**	国際経営学部教授	[　博士（学術）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

C-4　中国の将来 日本の針路

C-5　中国政治体制100年

[学歴]

東京外国語大学地域文化研究科地域文化専攻博士後期課程修了(1996/03)

ハーバード大学歴史東アジア言語課程(1995/05)

東京外国語大学地域研究研究科地域研究専攻修士課程修了(1992/03)

京都大学文学部哲学科美学美術史学専攻卒業(1988/03)

[主な職歴]

中央大学人文科学研究所所長(2021/04-)

中央大学国際経営学部教授(2019/04-)

中央大学国際経営学部学部長補佐(2019/04-2019/10)

中央大学国際経営学部開設準備室副室長(2018/11-2019/03)

中央大学経済学部教授(2004/04-2019/03)

中央大学経済学部助教授(1998/04-2004/03)

中央大学経済学部専任講師(1996/04-1998/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003429_ja.html

講師紹介（国際情報学部）

飯尾　淳	イイオ　ジュン	国際情報学部教授	[　博士（工学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

D-12　来るべきSociety 5.0な社会とは

D-13　データビジュアライゼーションの世界

D-14　人の行動を科学する方法

E-13　SNSを科学に分析する方法

G-2　異文化交流の世界

[学歴]

大阪大学基礎工学研究科システム創成専攻博士後期課程単位取得満期退学(2007/03)

東京大学工学系研究科計数工学専攻修士課程修了(1994/03)

東京大学工学部計数工学科卒業(1992/03)

[主な職歴]

中央大学国際情報学部教授(2019/04-)

中央大学文学部教授(2014/04-2019/03)

中央大学文学部准教授(2013/04-2014/03)

株式会社三菱総合研究所(1994/04-2013/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003436_ja.html

松野　良一	マツノ　リョウイチ	国際情報学部教授	[博士（総合政策）]
講 演 形 式 ：	【対面】		

[テーマ]

I-3　特攻と中央大学

[学歴]

中央大学総合政策研究科博士後期課程修了(2003/03)

筑波大学教育研究科カウンセリング専攻修士課程修了(1998/03)

九州大学教育学部（心理学、集団力学）卒業(1979/03)

[主な職歴]

中央大学国際情報学部教授(2019/04-)

中央大学総合政策学部教授(2005/04-2019/03)

中央大学総合政策学部長(2013/11-2017/10)

中央大学総合政策研究科委員長(2011/11-2013/10)

中央大学総合政策学部助教授(2013/04-2015/03)

TBS東京放送(1992/01-2003/03)

朝日新聞社(1982/04-1991/12)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003453_ja.html

講師紹介（法務研究科）

安念　潤司	**アンネン　ジュンジ**	法務研究科教授	
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

C-6　経済安全保障の現在

[学歴]

東京大学法学部卒業(1979/03)

[主な職歴]

中央大学大学院法務研究科教授（2007/12-）

成蹊大学大学院法務研究科教授（2003/04-2007/11）

弁護士(第一東京弁護士会、渡部晃法律事務所)（1992/02-）

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003460_ja.html

佐藤　信行	**サトウ　ノブユキ**	法務研究科教授	[　博士（法学）　]
講 演 形 式 ：	【対面】【オンライン】		

[テーマ]

A-10　AIは法システムの破壊者か?

[学歴]

中央大学法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得満期退学(1992/03)

中央大学法学研究科公法専攻博士前期課程修了(1988/03)

中央大学法学部法律学科卒業(1985/03)

[主な職歴]

中央大学教育力研究開発機構長(2021/04-)

中央大学副学長(2011/01-2014/11)(2020/07-)

中央大学大学院法務研究科教授(2006/04-)

尚美学園大学大学院総合政策研究科教授(2004/04-2006/03)

尚美学園大学総合政策学部教授(2001/04-2006/03)

[詳細プロフィール]

https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003485_ja.html

土田　伸也	ツチダ　シンヤ	法務研究科教授	[LL.M. （Universität Würzburg）] [修士（法学）]
講 演 形 式 ： 【対面】			
[テーマ] A-11　PTAと法			
[学歴] 中央大学法学研究科公法専攻博士後期課程単位取得退学(2003/03) ヴュルツブルク大学大学院（LL.M.）修士課程修了(2000/03) 中央大学法学研究科公法専攻博士前期課程修了(1997/03) 中央大学法学部法律学科卒業(1994/03)			
[主な職歴] 中央大学大学院法務研究科教授(2014/04-) 中央大学大学院法務研究科准教授(2009/09-2014/03) 愛知県立大学外国語学部ドイツ学科准教授(2007/04-2009/09) 愛知県立大学外国語学部ドイツ学科講師(2003/04-2004/03)			
[詳細プロフィール] https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003490_ja.html			
野村　修也	**ノムラ　シュウヤ**	法務研究科教授	[法学修士]
講 演 形 式 ： 【対面】			
[テーマ] A-12　会社法からみたSDGs A-13　實地應用ノ素ヲ養フ			
[学歴] 中央大学法学研究科博士後期課程中退(1989/03) 中央大学法学研究科博士前期課程修了(1987/03) 中央大学法学部法律学科卒業(1985/03)			
[主な職歴] 中央大学大学院法務研究科教授(2004/04-) 中央大学法学部教授(1998/04-2004/03)			
[詳細プロフィール] https://c-research.chuo-u.ac.jp/html/100003496_ja.html			